



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 株式会社 ミツウロコグループホールディングス
コード番号 8131 URL <http://www.mitsuuroko.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 晃平

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員財務経理部長 (氏名) 児島 和洋

TEL 03-3258-6310

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	47,801	22.6	575	△20.9	721	△14.2	254	△39.0
24年3月期第1四半期	38,996	9.5	727	△33.7	841	△27.0	416	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △44百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 423百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.91	—
24年3月期第1四半期	6.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	109,166	61,779	56.5	948.26
24年3月期	119,700	62,801	52.4	963.97

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 61,684百万円 24年3月期 62,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	1.2	400	—	350	1,061.4	50	—	0.77
通期	200,000	△1.3	3,400	5.8	3,500	△1.1	1,700	△28.0	26.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	68,137,308 株	24年3月期	68,137,308 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,087,737 株	24年3月期	3,087,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	65,049,588 株	24年3月期1Q	65,241,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ 1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が見られるものの、依然として欧州危機による不確実性が高まっていること等により、金融資本市場の変動や海外景気の下振れによる国内景気への下押し懸念が残るなど、不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ主力のエネルギー事業の周辺環境では、原油価格ならびにLPガス仕入価格の指標となるCP(Contract Price = 輸入通告価格)が下落傾向にはあるものの、依然として高い水準で推移しており、また、消費者の「省エネ」意識の高まり等によるLPガスの世帯使用量の減少傾向も顕著であることから、国内需要が前年を下回る石油製品と併せ厳しい販売環境が続く等、当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、前期に引き続き厳しい状況で推移しました。

こうした状況下、原価高による石油製品のマージン低下を販売量拡大により絶対額で補完すべく、九州地区等で積極的な営業活動を展開し、また、太陽光発電システムや家庭用燃料電池等の新エネルギー機器や復興需要により取扱量が増加している住宅設備機器商品への対応、さらに、継続的に取り組んでいる新電力事業(PPS=特定規模電気事業者)拡大やミネラルウォーター製品の販売量拡大にも注力いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比22.6%増の478億1百万円となりましたが、新電力事業(PPS=特定規模電気事業者)における原価上昇や飲料事業の販売管理費増加等により、営業利益は前年同期比20.9%減の5億75百万円、経常利益は前年同期比14.2%減の7億21百万円となり、四半期純利益は前年同期比39.0%減の2億54百万円となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

なお、セグメントの名称については、当第1四半期連結会計期間より語尾に「事業」をつけることといたしました。

(エネルギー事業)

石油製品全般において原油価格ならびにCPが下落する中、消費者の省エネに対する意識向上が消費減に繋がる厳しい環境下でありましたが、顧客の創造に努めたことが販売数量の増加に結び付き、また、電力不足問題や再生可能エネルギーへの注目度増加による太陽光発電システム等の新エネルギー機器の販売増加により、売上高は前年同期比22.8%増の453億19百万円、営業利益は前年同期比0.2%増の8億77百万円となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は前年同期比0.0%減の2億72百万円、営業利益は販売管理費増加により前年同期比7.9%減の1億10百万円となりました。

(健康・スポーツ事業)

横浜駅西口の複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」内の「SPA EAS(スパイアス)」の来場数が大きく増加したことにより、売上高は前年同期比17.1%増の3億61百万円、営業損失は前年同期比24百万円改善し、80百万円(前年同四半期は営業損失1億5百万円)となりました。

なお、当セグメントは「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」運営によるものですが、当該施設内のテナント群の業態等を含め施設全体のコンセプトを正確に表すため、セグメント名称を従来の「アミューズメント」に替え、当第1四半期連結会計期間より「健康・スポーツ事業」と変更いたしました。

(電力事業)

新電力事業(PPS=特定規模電気事業者)としての電気販売量増加等により、売上高は前年同期比18.5%増の10億87百万円となりましたが、電力不足に起因する電気の調達価格上昇の影響により、営業損益は前年同期比1億1百万円悪化し60百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益41百万円)となりました。

(その他事業)

飲料製品をはじめ、リース事業や煉炭・豆炭製品等の売上増により、売上高は前年同期比27.8%増の7億60百万円となりましたが、飲料製品の販売促進策実施に伴う営業費用増加により営業損益は前年同期比55百万円減少し26百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益28百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、現金及び預金の減少26億46百万円、受取手形及び売掛金の減少65億84百万円、投資有価証券の減少5億9百万円等により、前連結会計年度末と比較して105億34百万円減少の1,091億66百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少64億31百万円、未払法人税等の減少12億10百万円、短期借入金の減少14億95百万円等により、前連結会計年度末と比較して95億12百万円減少の473億86百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い9億77百万円及び四半期純利益2億54百万円等による利益剰余金の減少7億23百万円等により、前連結会計年度末と比較して10億22百万円減少の617億79百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して4.1ポイント増加して56.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、原油価格及びLPGガスの仕入価格の動向並びに市場の動向によっては厳しい状況も想定されますが、平成24年5月8日の決算発表時に公表した数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,026	32,379
受取手形及び売掛金	19,134	12,550
商品及び製品	3,391	3,257
原材料及び貯蔵品	243	234
繰延税金資産	557	403
その他	3,245	2,987
貸倒引当金	△174	△118
流動資産合計	61,423	51,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,623	12,471
機械装置及び運搬具(純額)	8,217	8,002
土地	12,900	12,900
建設仮勘定	20	26
その他(純額)	758	723
有形固定資産合計	34,521	34,125
無形固定資産		
のれん	1,669	1,620
その他	1,418	1,512
無形固定資産合計	3,087	3,133
投資その他の資産		
投資有価証券	11,180	10,671
繰延税金資産	822	823
その他	8,835	8,887
貸倒引当金	△184	△177
投資その他の資産合計	20,654	20,204
固定資産合計	58,263	57,462
繰延資産	13	9
資産合計	119,700	109,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,709	10,277
短期借入金	11,759	10,263
未払法人税等	1,303	92
引当金	798	447
その他	2,574	2,869
流動負債合計	33,144	23,951
固定負債		
長期借入金	14,126	13,881
繰延税金負債	2,257	2,124
退職給付引当金	1,273	1,299
その他の引当金	428	445
資産除去債務	691	691
その他	4,976	4,993
固定負債合計	23,754	23,435
負債合計	56,899	47,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	49,955	49,232
自己株式	△1,704	△1,704
株主資本合計	61,173	60,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	1,602
繰延ヘッジ損益	△337	△368
その他の包括利益累計額合計	1,532	1,234
少数株主持分	95	95
純資産合計	62,801	61,779
負債純資産合計	119,700	109,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	38,996	47,801
売上原価	32,312	41,128
売上総利益	6,683	6,672
販売費及び一般管理費	5,955	6,096
営業利益	727	575
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	104	123
その他	212	155
営業外収益合計	336	297
営業外費用		
支払利息	138	112
その他	85	39
営業外費用合計	223	152
経常利益	841	721
特別利益		
固定資産売却益	9	17
特別利益合計	9	17
特別損失		
固定資産除却損	26	60
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	99
特別損失合計	27	159
税金等調整前四半期純利益	823	579
法人税、住民税及び事業税	235	193
法人税等調整額	171	131
法人税等合計	406	325
少数株主損益調整前四半期純利益	417	253
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	416	254

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	417	253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	△267
繰延ヘッジ損益	△34	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	6	△298
四半期包括利益	423	△44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423	△44
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	エネルギ ー事業	不動産 賃貸事 業	健康・ スポーツ 事業	電力事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,903	272	308	917	38,401	594	38,996	—	38,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	3	—	19	41	11	52	△52	—
計	36,920	275	308	937	38,442	606	39,048	△52	38,996
セグメント利益又は 損失(△)	875	120	△105	41	931	28	960	△232	727

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△232百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告には配分していない
 全社費用△231百万円及びその他調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント
 に帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	エネルギ ー事業	不動産 賃貸事 業	健康・ スポーツ 事業	電力事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,319	272	361	1,087	47,040	760	47,801	—	47,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	9	—	24	47	21	69	△69	—
計	45,333	282	361	1,112	47,088	781	47,870	△69	47,801
セグメント利益又は 損失(△)	877	110	△80	△60	846	△26	820	△244	575

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、飲料製品の製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△244百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告には配分していない
全社費用△247百万円及びその他調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント
に帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

セグメントの名称については、当第1四半期連結会計期間より語尾に「事業」をつけることといたしました。

また、従来の「アミューズメント」セグメントについては「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」運営によるもの
ですが、当該施設内のテナント群の業態等を含め施設全体のコンセプトを正確に表すため、名称を従来の「アミュー
ズメント」に替え、当第1四半期連結会計期間より「健康・スポーツ事業」と変更いたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。